

入学者受入れ方針（アドミッションズ・ポリシー）

1. 介護福祉および口腔保健衛生に深い関心を持ち、人々の健康増進や福祉に高い目的意識を持つ人
2. 高齢者や障がい者の気持ちを理解し、思いやりのある人
3. 科学的探究心を持ち、強い学習意欲のある人
4. 地域医療・福祉へ貢献する意欲のある人

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

豊かな教養と人間性を持ち、さらに利用者のプライバシーと人権を尊重し、利用者本位の介護のできる介護福祉士の養成を目指して、次の方針でカリキュラムを編成している。

1. 基礎教育と専門教育とを充実し、利用者との対人コミュニケーション技法の習得と利用者本位の介護姿勢の涵養
2. 介護実践の根拠に基づき、「介護」を中核として「人間と社会」、「こころとからだのしくみ」の3領域間の教育内容の相互連携を重視した包括的・系統的な科目構成
3. 高齢者の生活の質（QOL）の向上を図るため、充実した臨床・臨地実習により口腔ケアならびに介護予防に関する知識と技術の習得
4. 教育・研究の場としてのキャンパス内の介護老人保健施設、介護老人福祉施設との連携により、ボランティア活動の推進、実践力の強化ならびに広く介護予防ができる人材の育成
5. 資格取得支援教育の実施

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学所定の単位を修めて卒業試験に合格し、次の能力を有する学生に卒業を認定し、学位（短期大学士）を授与する。

1. 豊かな教養と人間性を持ち、さまざまな利用者に対応するための基本的な知識を体系的に理解できる
2. 利用者、家族、チームに対する円滑な対人コミュニケーションのとり方を身につけている
3. 多様な情報や知識を論理的に分析、表現できる能力を身につけている。また、職業生活や社会生活でも問題発見能力と問題解決能力を有している
4. 生活支援専門職としての自己管理能力やリーダーシップが発揮でき、他職種と協調・協働してチームケアとしての専門性を発揮することができる
5. 人権擁護の視点や職業倫理を身につけ、生涯にわたって自ら学び、介護実践の根拠に基づいた、尊厳を支えるケアを実践しながら地域福祉の向上のために貢献できる
6. 超高齢社会に対応した高齢者や障がい者の生活の質（QOL）の向上のために、新たな課題の解決につながる実践的な生活支援や自立支援の取組を推進できる